

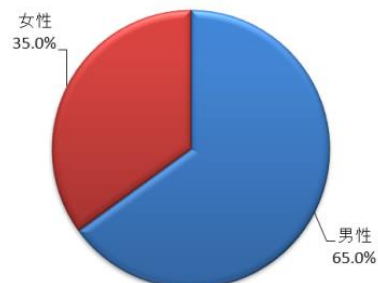
「豪雨災害に関する意識」についてのアンケート集計結果

★調査時期：平成27年1月
 ★対象者：県政モニター 396人
 ★回答数：300人（回収率75.8%）
 ★担当課：土木交通部 流域政策局 流域治水政策室
 ★調査目的：県では、どのような洪水にあっても、“人命が失われること”や“生活再建が困難となる被害”を避けることを目的に、これまでの「川の中の対策（河川整備やダム建設など）」に加えて、「川の外の対策」を県民の皆さんと協働で実施していく「流域治水政策」を推進しているところです。
 県民のみなさんの豪雨災害に関する意識等について把握し、今後の施策検討の参考とする目的でアンケート調査を実施しました。

◆あなたの性別を教えてください。

(参考)

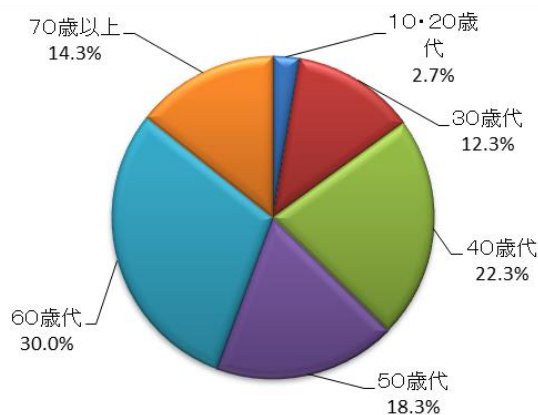
項目	今回 (H27.1)		前回 (H26.2)	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
男性	195	65.0	201	65.0
女性	105	35.0	108	35.0
合計	300	100.0	309	100.0



◆あなたの年齢を教えてください。

(参考)

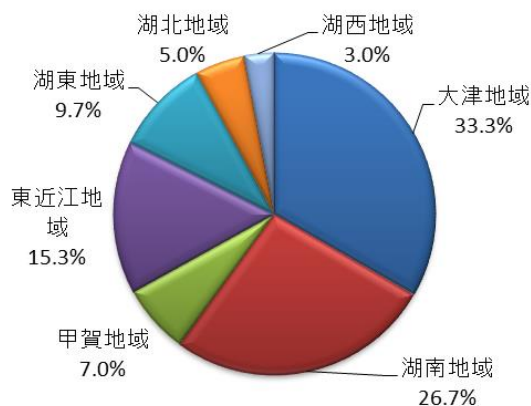
項目	今回 (H27.1)		前回 (H26.2)	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
～20歳代	8	2.7	14	4.5
30歳代	37	12.3	46	14.9
40歳代	67	22.3	63	20.4
50歳代	55	18.3	56	18.1
60歳代	90	30.0	89	28.8
70歳以上	43	14.3	41	13.3
合計	300	100.0	309	100.0



◆あなたのお住まいの地域を教えてください。

(参考)

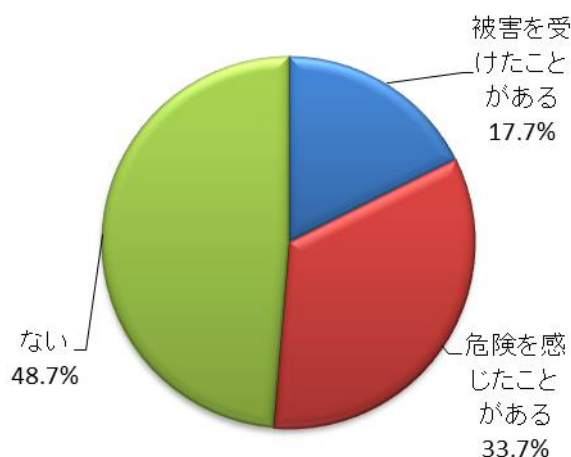
項目	今回 (H27.1)		前回 (H26.2)	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
大津地域	100	33.3	107	34.6
湖南地域	80	26.7	79	25.6
甲賀地域	21	7.0	24	7.8
東近江地域	46	15.3	46	14.9
湖東地域	29	9.7	24	7.8
湖北地域	15	5.0	19	6.1
湖西地域	9	3.0	10	3.2
合計	300	100.0	309	100.0



問1 近年、全国各地で水害や土砂災害が発生していますが、あなたは、過去に豪雨（台風を含む）によって被害を受けたり、危険を感じたりしたことはありますか。
（回答チェックは1つだけ）

（参考）

項目	今回 (H27. 1)		前回 (H26. 2)		
	人数(人)	割合(%)	項目	人数(人)	割合(%)
被害を受けたことがある	53	17.7	ある	113	36.6
危険を感じたことがある	101	33.7			
ない	146	48.7	ない	196	63.4
合計	300	100.0		309	100.0



※ 設問は前回と同じですが、選択肢を「被害を受けたことがある」と「危険を感じたことがある」に分割しました。「被害を受けたり、危険を感じたりしたことがある」との回答が14.8ポイント増加しています。

問2 問1で「1. 被害を受けたことがある」または「2. 危険を感じたことがある」を選択された方にお尋ねします。

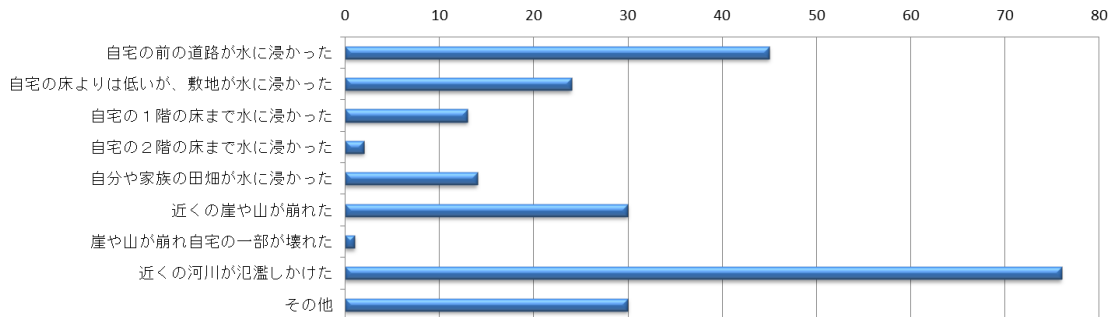
その時の状況はどのようなものでしたか。（回答チェックはいくつでも可 n=154）

（参考）

項目	今回 (H27. 1)		前回 (H26. 2)	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
1. 自宅の前の道路が水に浸かった	45	29.2	44	38.9
2. 自宅の床よりは低い敷地が水に浸かった	24	15.6	28	24.8
3. 自宅の1階の床まで水に浸かった	13	8.4	11	9.7
4. 自宅2階の床まで水に浸かった	2	1.3	0	0.0
5. 自分や家族の田畑が水に浸かった	14	9.1	16	14.2
6. 近くの崖や山が崩れた	30	19.5	29	25.7
7. 崖や山が崩れ自宅の一部が壊れた	1	0.6	9	8.0
8. 近くの河川が氾濫しかけた	76	49.4	12	10.6
9. その他	30	19.5	23	20.4

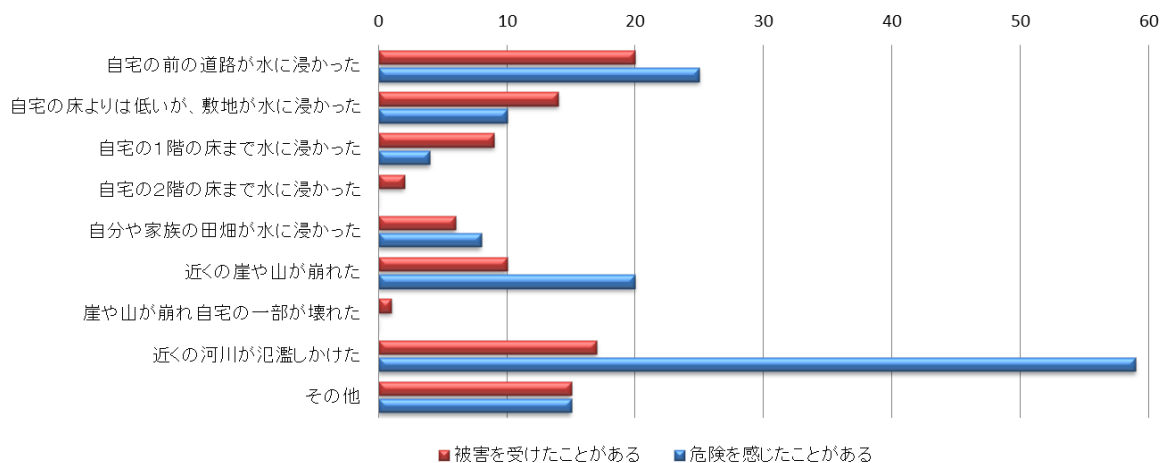
※ 項目8の回答「近くの河川が氾濫しかけた」が38.8ポイント増加しています。前回、項目8は選択項目になかったものですが、自由回答より人数を集計した値と

なっています。今回の結果は、はじめから選択項目として用意したことの影響が考えられます。



問1とのクロス集計

問2の回答 \ 問1の回答	危険を感じたことがある	被害を受けたことがある	合計
自宅の前の道路が水に浸かった	25	20	45
自宅の床よりは低い、敷地が水に浸かった	10	14	24
自宅の1階の床まで水に浸かった	4	9	13
自宅の2階の床まで水に浸かった	0	2	2
自分や家族の田畑が水に浸かった	8	6	14
近くの崖や山が崩れた	20	10	30
崖や山が崩れ自宅の一部が壊れた	0	1	1
近くの河川が氾濫しかけた	59	17	76
その他	15	15	30



その他の内容

- ・「自宅の外に置いていたものが倒れてフェンスが壊れた」など、雨漏り、風による窓、シャッター、フェンスの破損等、住宅に対する被害(回答数 10)
- ・「勤務先が床下浸水の被害にあった」等、勤務先の浸水被害(回答数 3)

- ・「車で走行中、道路が冠水していた」等、道路の冠水、通行止め、鉄道の運休等、交通の乱れ(回答数 5)
- ・愛知川の決壊等、災害に遭遇した(回答数 4)
- ・避難勧告が出た(回答数 2)
- ・ニュースを見て不安になったことがある(回答数 1)
- ・激しくたたきつけるような雨音が続いた(回答数 1)
- ・停電や断水(回答数 1)
- ・琵琶湖の水位が異常に高かった(回答数 1)
- ・隣家の排水が追い付かず、自宅の敷地に流入した(回答数 1)

問3 あなたは、今住んでいる地域で起きた過去の自然災害(被害)の話を、人から聞かれたことがありますか。(回答チェックは1つだけ)

(参考)

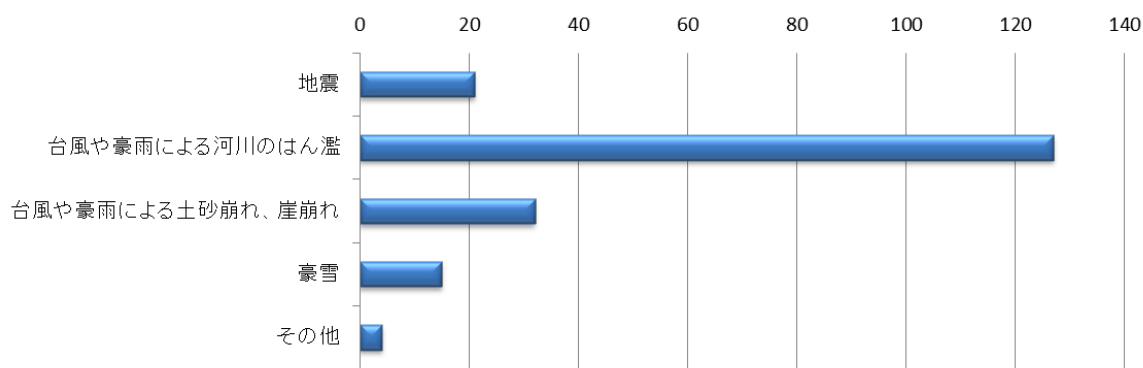
項目	今回(H27.1)		前回(H26.2)	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
ある	135	45.0	129	41.7
ない	165	55.0	180	58.3
合計	300	100.0	309	100.0

問4 問3で「ある」と選択された方にお聞きします。

それはどのような自然災害でしたか。(回答チェックはいくつでも可。n=135)

(参考)

項目	今回(H27.1)		前回(H26.2)	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
1. 地震	21	15.6	19	14.7
2. 台風や豪雨による河川のはん濫	127	94.1	110	85.3
3. 台風や豪雨による土砂崩れ、崖崩れ	32	23.7	37	28.7
4. 豪雪	15	11.1	12	9.3
5. その他	4	3.0	7	5.4



その他の内容

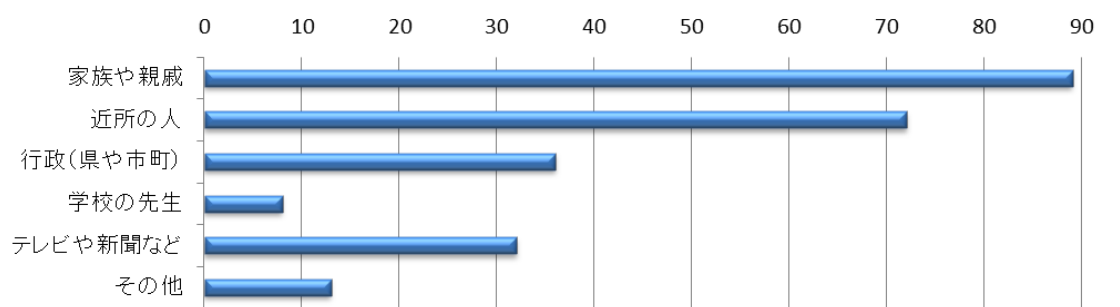
- ・竜巻(回答数 1)
- ・豪雨で家が浸水した。(回答数 1)
- ・びわ湖の氾濫(回答数 1)

問5 問3で「ある」と選択された方にお聞きします。

その話は誰から聞きましたか。(回答チェックはいくつでも可。n=135)

(参考)

項 目	今回 (H27.1)		前回 (H26.2)	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
1. 家族や親戚	89	65.9	61	47.3
2. 近所の人	72	53.3	64	49.6
3. 行政(県や市町)	36	26.7	24	18.6
4. 学校の先生	8	5.9	6	4.7
5. テレビや新聞など	32	23.7	26	20.2
6. その他	13	9.6	16	12.4



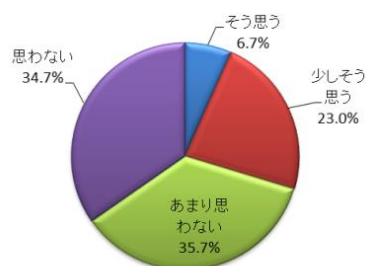
その他の主な内容

- ・現地の案内表示(回答数 2)
- ・地方史等の書籍や地域で作られた冊子(回答数 2)
- ・自治連合会や消防団等、地域の活動の中(回答数 2)
- ・インターネット(回答数 1)

問6 あなたは、今住んでいる家が、今後10年以内に洪水による被害を受けると思われますか。(回答チェックは1つだけ)

(参考)

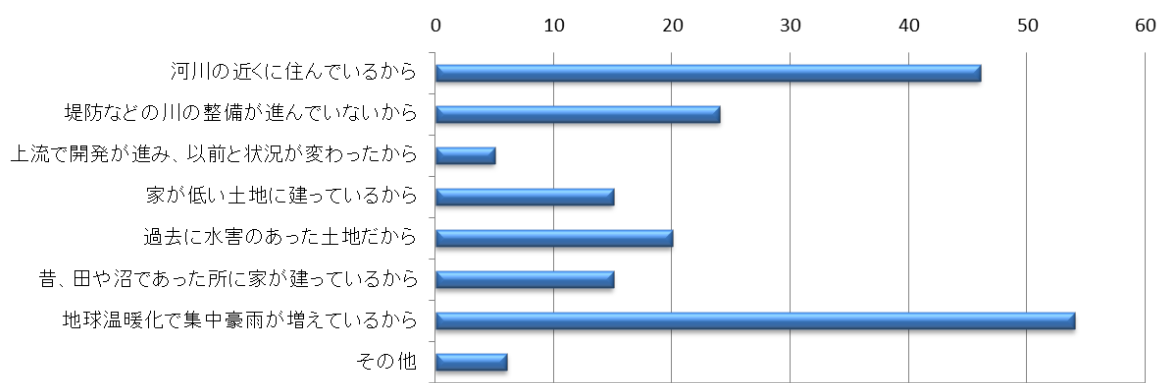
項目	今回(H27.1)		前回(H26.2)	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
1. そう思う	20	6.7	11	3.6
2. 少しそう思う	69	23.0	78	25.2
3. あまり思わない	107	35.7	115	37.2
4. 思わない	104	34.7	105	34.0
合計	300	100.0	309	100.0



問7 問6で「そう思う」または「少しそう思う」を選択された方にお聞きします。そのように思う理由は何ですか。(回答チェックはいくつでも可。n=89)

(参考)

項目	今回(H27.1)		前回(H26.2)	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
1. 河川の近くに住んでいるから	46	51.7	42	47.2
2. 堤防などの川の整備が進んでいないから	24	27.0	18	20.2
3. 上流で開発が進み、以前と状況が変わったから	5	5.6	6	6.7
4. 家が低い土地に建っているから	15	16.9	10	11.2
5. 過去に水害があった土地だから	20	22.5	13	14.6
6. 昔、田や沼であった所に家が建っているから	15	16.9	28	31.5
7. 地球温暖化で集中豪雨が増えているから	54	60.7	46	51.7
8. その他	6	6.7	13	14.6



※項目7「地球温暖化で集中豪雨が増えているから」との回答が9ポイント増加しています。気候の変化への関心が高まっていることが感じられます。

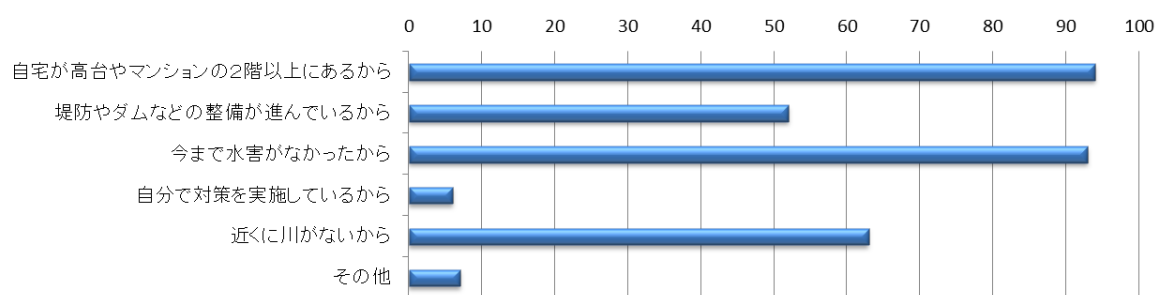
その他の主な内容

- ・地域の中で防災を整える案に賛成者が少ない(回答数2)
- ・急傾斜地の警戒区域に自宅がある(回答数1)

問8 問6で「あまり思わない」または「思わない」を選択された方にお聞きします。
 そのように思う理由は何ですか。(回答チェックはいくつでも可。n=211)

(参考)

項 目	今回 (H27.1)		前回 (H26.2)	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
1. 自宅が高台やマンションの2階以上にあるから	94	44.5	92	41.8
2. 堤防やダムなどの整備が進んでいるから	52	24.6	50	22.7
3. 今まで水害がなかったから	93	44.1	100	45.5
4. 自分で対策を実施しているから	6	2.8	2	0.9
5. 近くに川がないから	63	29.9	69	31.4
6. その他	7	3.3	14	6.4



その他の主な内容

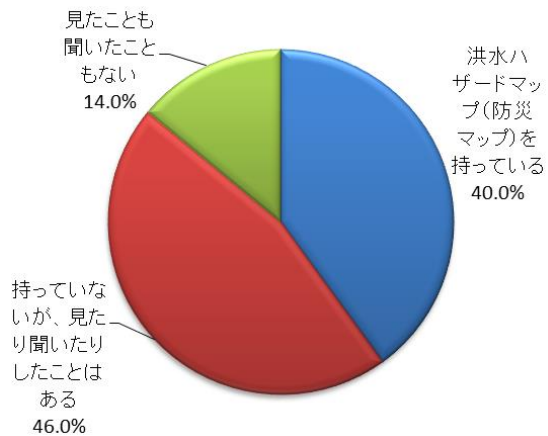
- ・琵琶湖が目の前だから(回答数 1)
- ・ハザードマップで(リスクが少ないことを)確認したから(回答数 1)

問9 浸水が予想される区域を示すものとして、市町が配布する「洪水ハザードマップ(防災マップ)」がありますが、あなたはこれを見たり、聞いたりしたことはありますか。(回答チェックは1つだけ)

(参考)

項 目	今回 (H27.1)		前回 (H26.2)	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
1. 洪水ハザードマップ(防災マップ)を持っている	120	40.0	90	29.1
2. 持っていないが、見たり聞いたりしたことはある	138	46.0	159	51.5
3. 見たことも聞いたこともない	42	14.0	60	19.4
合 計	300	100.0	309	100.0

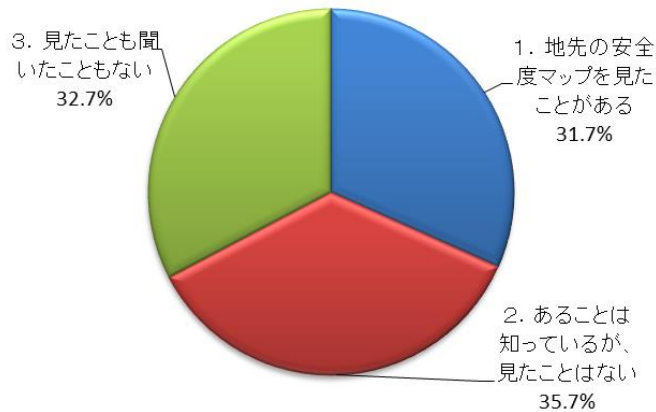
※ 「洪水ハザードマップを持っている」の割合が、前回(29.1%)→今回(40.0%)と10.9ポイント増加しています。



問 10 滋賀県では、浸水が予想される区域を示すものとして、大きな河川だけではなく身近な水路や小河川の氾濫も含め、詳細な水害リスクを予測した「地先の安全度マップ」を作成し、県ホームページで公開していますが、あなたはこれを見たり、聞いたりしたことはありますか。(回答チェックは1つだけ)

(参考)

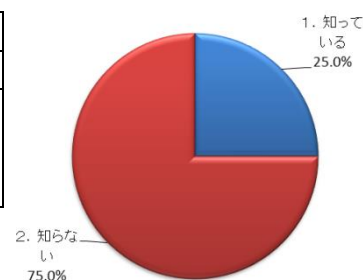
項 目	今回 (H27.1)		前回 (H26.2)	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
1. 地先の安全度マップを見たことがある	95	31.7	今回 (H27.1) 新たに設けた質問です	
2. あることは知っているが、見たことはない	107	35.7		
3. 見たことも聞いたこともない	98	32.7		
合 計	300	100.0		



問11 滋賀県では、家や土地の売買・賃貸借の際に、水害リスク情報（地先の安全度マップや洪水ハザードマップ）を取引相手に示すよう努力義務規定を設けていますが、あなたはこのことについて知っていますか。（回答チェックは1つだけ）

（参考）

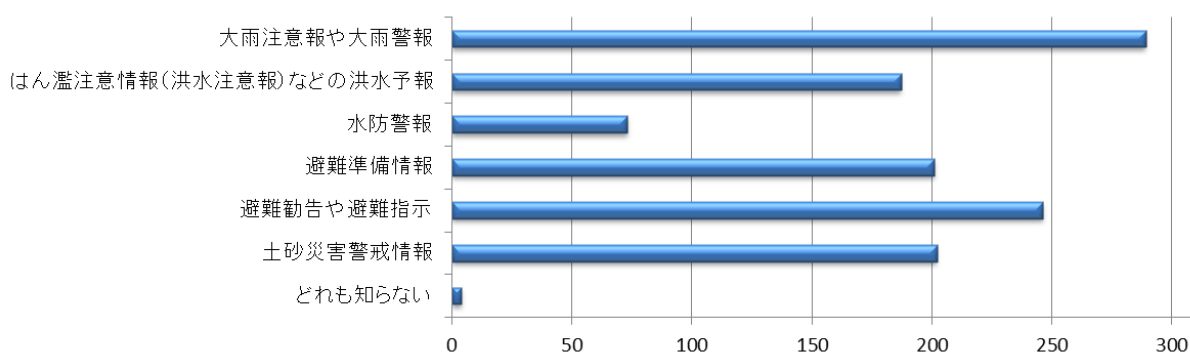
項目	今回 (H27.1)		前回 (H26.2)	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
1. 知っている	75	25.0	今回 (H27.1) 新たに設けた質問です	
2. 知らない	225	75.0		
合計	300	100.0		



問12 水害や土砂災害が発生する危険性が高くなった時に出る次の情報のうち、知っているものはどれですか。（回答チェックはいくつでも可。n=300）

（参考）

項目	今回 (H27.1)		今回 (H26.2)	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
1. 大雨注意報や大雨警報	289	96.3	302	97.7
2. はん濫注意情報（洪水注意報）などの洪水予報	187	62.3	153	49.5
3. 水防警報	73	24.3	56	18.1
4. 避難準備情報	201	67.0	152	49.2
5. 避難勧告や避難指示	246	82.0	254	82.2
6. 土砂災害警戒情報	202	67.3	185	59.9
7. どれも知らない	4	1.3	1	0.3



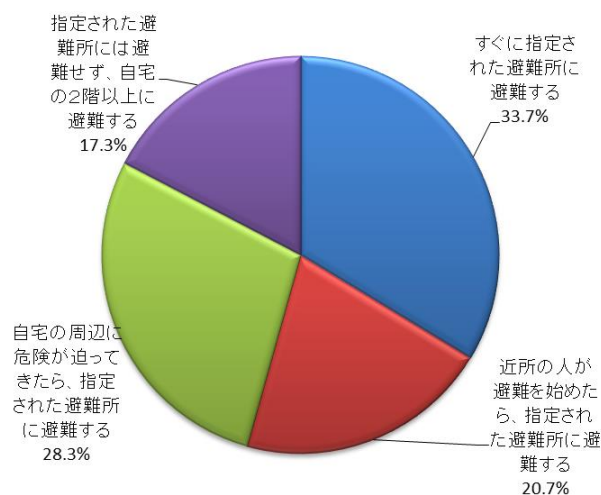
※項目2「洪水予報」、項目3「水防警報」、項目4「避難準備情報」、項目6「土砂災害警戒情報」の認知度が上昇しています。

問 13 水害や土砂災害の危険が高くなり、市町から避難勧告が出された場合、あなたはどのような行動をとると思われますか。次の中からあなたの考えに最も近いものを選択してください。(回答チェックは1つだけ)

(参考)

項 目	今回 (H27. 1)		前回 (H26. 2)	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
1. すぐに指定された避難所に避難する	101	33.7	144	46.6
2. 近所の人が避難を始めたら、指定された避難所に避難する	62	20.7	63	20.4
3. 自宅の周辺に危険が迫ってきたら、指定された避難所に避難する	85	28.3	65	21.0
4. 指定された避難所には避難せず、自宅の2階以上に避難する	52	17.3	37	12.0
合 計	300	100.0	309	100.0

※ 項目1の「すぐに指定された避難所に避難する」が減少し、項目3「自宅の周辺に危険が迫ってきたら、指定された避難所に避難する」と項目4「指定された避難所には避難せず、自宅の2階以上に避難する」が増加しました。自宅の周辺に危険が迫ってきた時には、避難することがかえって危険な場合もあります。2階まで浸水するリスクがある場所も存在し、そこでは2階への避難が危険な場合もあります。地先の安全度などを調べ、その時の情報をしっかりと集め判断して下さい。



指定された避難所には避難せず、自宅の2階以上に避難する理由

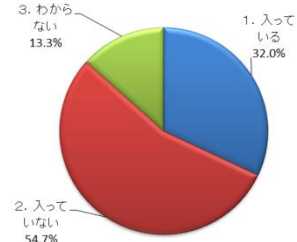
- ・ 指定された避難所より自宅の方が災害リスクが低いから(回答数 12)
- ・ マンションに住んでいるから(回答数 11)
- ・ 避難所までの経路が危険だから(回答数 9)
- ・ 自分自身や家族の避難が難しいから(回答数 6)
- ・ 避難所での生活が不安だから(回答数 4)
- ・ 自分自身で考えた避難場所に避難するから(回答数 2)
- ・ 指定された避難場所に避難所としての機能がない(回答数 2)

- ・家を長く開けているのが不安から(回答数 1)
- ・自宅の方が情報収集しやすいから(回答数 1)
- ・取り越し苦労になるから(回答数 1)

問 14 あなたは、火災保険に加えて、水害や土砂災害に備えた保険(住宅総合保険等)に入っていますか。(回答チェックは1つだけ)

(参考)

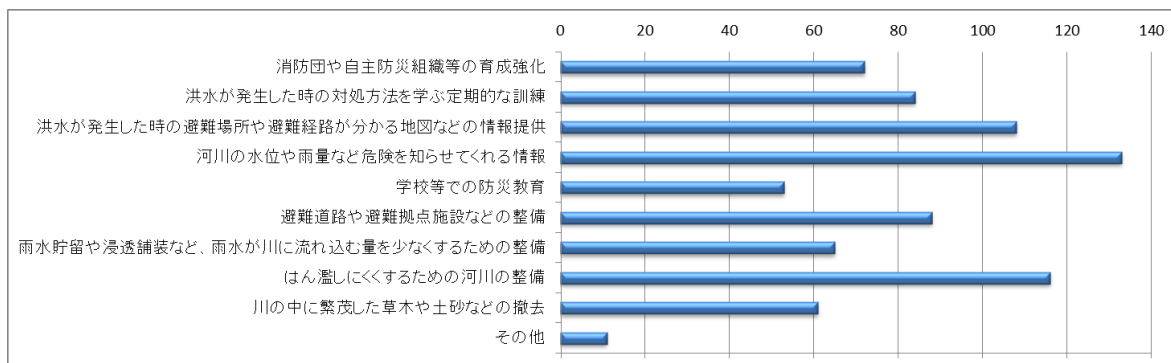
項 目	今回 (H27. 1)		前回 (H26. 2)	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
1. 入っている	96	32.0	99	32.0
2. 入っていない	164	54.7	167	54.0
3. わからない	40	13.3	43	14.0
合 計	300	100.0	309	100.0



問 15 洪水から命や財産を守るため、あなたは県や市町の行政に対して、どのような取り組みを望まれますか。下の中から、重視して進めるべきと思われるものを選んでください。(回答チェックは3つまで可。n=300)

(参考)

項 目	今回 (H27. 1)		前回 (H26. 2)	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
1. 消防団や自主防災組織等の育成強化	72	24.0	68	22.0
2. 洪水が発生した時の対処方法を学ぶ定期的な訓練	84	28.0	71	23.0
3. 洪水が発生した時の避難場所や避難経路が分かる地図などの情報提供	108	36.0	134	43.4
4. 河川の水位や雨量など危険を知らせてくれる情報	133	44.3	137	44.3
5. 学校等での防災教育	53	17.7	57	18.4
6. 避難道路や避難拠点施設などの整備	88	29.3	97	31.4
7. 雨水貯留や浸透舗装など、雨水が川に流れ込む量を少なくするための整備	65	21.7	79	25.6
8. はん濫しにくくするための河川の整備	116	38.7	143	46.3
9. 川の中に繁茂した草木や土砂などの撤去	61	20.3	56	18.1
10. その他	11	3.7	15	4.9



その他の主な内容

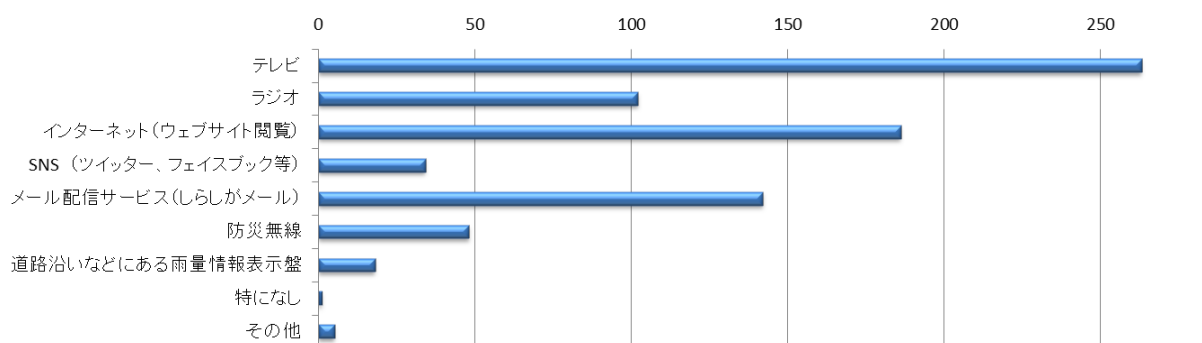
- ・流域治水の観点にたつて、施策をおこなってもらいたい（回答数 1）
- ・災害内容に適した避難場所の提供と指導（回答数 1）
- ・最新の技術で予測される災害の情報を詳細に入手できること（回答数 1）
- ・色々な注意報や警報があるがそれらを正しく理解すること（回答数 1）
- ・山林の整備で山の保水力アップを図るとか、ダム of 整備（回答数 1）
- ・防災士や、それに準じる資格取得への補助（回答数 1）
- ・緊急を要する連絡等が自治会長等に直連絡出来る仕組み（回答数 1）
- ・田んぼ、畑の宅地化の抑止（回答数 1）
- ・自治会に対する指導（回答数 1）
- ・河川の決壊箇所 の 特定、被害予測（回答数 1）
- ・役所内の役割区分をなくすこと（回答数 1）

問 16 豪雨災害時の情報取得手段としてよく活用しているものを教えてください。

（回答チェックはいくつでも可。n=300）

項 目	今回 (H27. 1)		今回 (H26. 2)	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
1. テレビ	263	87.7	292	94.5
2. ラジオ	102	34.0	102	33.0
3. インターネット（ウェブサイト閲覧）	186	62.0	206	66.7
4. SNS（ツイッター、フェイスブック等）	34	11.3	34	11.0
5. メール配信サービス（しらしがメール）	142	47.3	119	38.5
6. 防災無線	48	16.0	46	14.9
7. 道路沿いなどにある雨量情報表示盤	18	6.0	25	8.1
8. 特になし	1	0.3	1	0.3
9. その他	5	1.7	9	2.9

※ 項目5「メール配信サービス（しらしがメール）」の認知度が9ポイント増加しています。



その他の主な内容

- ・有線放送（回答数 1）

- ・河川に設置されているダムからの放流警報器(回答数 1)
- ・データ放送(回答数 1)
- ・観天望気(回答数 1)

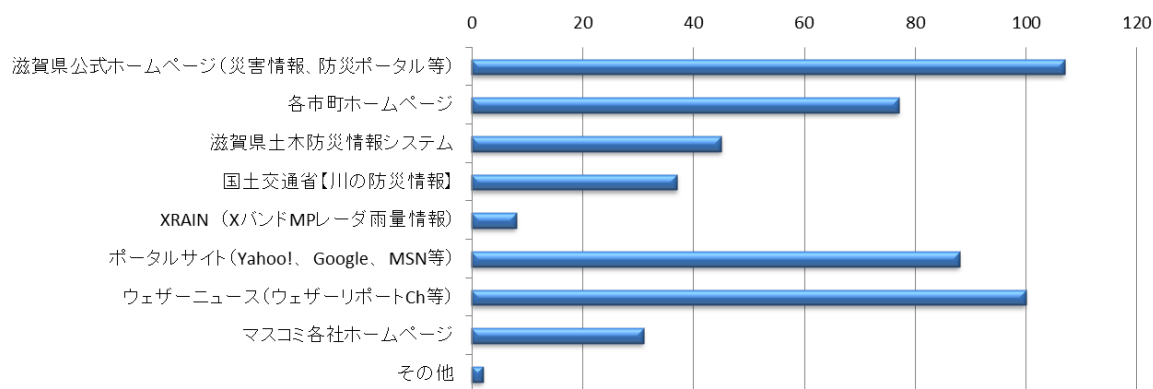
(観天望気とは、自然現象や生物の行動の様子などから天気を予想すること。またその元となる条件と結論を述べた、天気のことわざのような伝承のこと。)

問 17 問 16で「3. インターネット(ウェブサイト閲覧)」と回答された方にお尋ねします。よく利用するサイトを教えてください。(回答チェックはいくつでも可 n=186)

項 目	今回(H27.1)		今回(H26.2)	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
1. 滋賀県公式ホームページ(災害情報、防災ポータル等)	107	57.5	99	48.1
2. 各市町ホームページ	77	41.4	66	32.0
3. 滋賀県土木防災情報システム	45	24.2	34	16.5
4. 国土交通省【川の防災情報】	37	19.9	31	15.0
5. XRAIN(XバンドMPレーダ雨量情報)	8	4.3	2	1.0
6. ポータルサイト(Yahoo!、Google、MSN等)	88	47.3	95	46.1
7. ウェザーニュース(ウェザーリポートCh等)	100	53.8	89	43.2
8. マスコミ各社ホームページ	31	16.7	35	17.0
9. その他	2	1.1	4	1.9

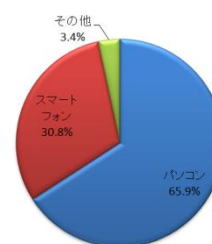
その他の主な内容

- ・気象庁ホームページ(回答数 2)
- ・スマートフォンの災害用アプリ(回答数 1)



問 18 ※問 16 で「3. インターネット（ウェブサイト閲覧）」または「4. SNS（ツイッター、フェイスブック等）」と回答された方にお尋ねします。
主に使用される機器は何ですか（回答チェックは1つだけ）

項 目	今回 (H27. 1)		今回 (H26. 2)
	人数(人)	割合(%)	
1. パソコン	137	57.5	今回(H27.1)新たに設けた質問です
2. スマートフォン	64	41.4	
3. その他	7	24.2	



問 19 水害や土砂災害の被害を少なくするため、個人や地域ではどのようなことに留意する必要があると思いますか。ご意見がありましたらお聞かせください。

(主だった意見)

【個人で留意すること】

- ・住んでいる地域の危険度、昔からの言い伝えや伝承を知る。
- ・災害時に家族で集合する場所を決める。
- ・正しい情報を集め、災害時、的確な行動が出来るようにしておく。
- ・機会あるたびに避難についての行動を考えながら生活していくこと。他府県の災害事例等を参考に考えること。
- ・防災に関する準備、非常食の買い置き等。
- ・行政の避難勧告にかかわらず、自分で判断を下すこと。
- ・自然災害に対して安易に考えない。
- ・地域の人達との繋がりを強くしておく。防災訓練などには、積極的に参加する。
- ・家を建てるときにすでに諸々の災害被害について考えるべき。
- ・基本は自分の身は自分で守ること。

【地域で留意すること】

- ・ハザードマップを利用し各自治会での対策を考える。
- ・地域での災害訓練をして災害への関心を高めること。
- ・雨水貯留や浸透舗装の整備を国もしくは地域をあげて、積極的に行うこと。
- ・今ある組織を活動し災害訓練を頻繁にする。
- ・住民が、正しい情報が集め易い様に、正しい情報を多く提供出来るようにする。
- ・町内会組織の活性化で日頃のコミュニケーションをよくする。
- ・高齢化が進む中、隣近所助け合いの精神を大事にして対応する必要がある。
- ・避難訓練を行い 避難場所など普段から地域全体に徹底する。
- ・普段の研修（自治会・隣組単位）が特に必要。
- ・川であればゴミの清掃や危険個所の把握など。

【その他】

- ・幼稚園や小学校の周りの整備や避難場所の設備、耐震性の調査強化。
- ・土砂災害発生危険区域となっていますが、指定しているだけで今後行政側としてど

んな取り組みを考えているのかが分からない。

- ・ 滋賀県は災害の少ない県として知られていますが、それがゆえに、慢心が起きている可能性がある。
- ・ 豪雨や台風による河川氾濫情報を得るために河川に水位計や監視カメラなどの対策を県・市行政が実施してインターネット回線や防災無線などで情報を伝えられるようにしてほしい。
- ・ 行政のサイドで危険と思われるところを啓蒙していただきたい。
- ・ 危険な個所、危ないと予想される場所は積極的に行政が対応処置（防災工事等）を行うべき。
- ・ 緊急時の連絡方法や周知徹底の方法について行政で整備をして欲しい。